

2022 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

本学園で学ぶ生徒が、より良い人間関係と充実した教育環境のもとで、その人格・個性が尊重され、学習や行事・活動を通して確かな学力と社会性を身につけ、豊かな人間性を育み、やがて社会の中で活躍し未来を切り拓いていく力を培う教育を実践する。

- 〔1〕個性を伸ばし自らの成長に向けて努力する人を育てる。
- 〔2〕自主的に何事にも積極的に取り組む人を育てる。
- 〔3〕実践を通して知識・技能を一層深く学ぶ人を育てる。
- 〔4〕礼儀を身につけより良い人間関係を築こうとする心豊かな人を育てる。

2 中期的目標

【1】建学の精神と教育理念にもとづく学校経営計画及び教育計画を策定し実践する。

- (1)あらゆる教育計画・活動に本校の教育理念・方針の一層の浸透を図る。
 - ア 学年・校務分掌等の教育計画を改善し、理念・方針を浸透させる。
- (2)教育計画の実践に向け教職員の資質向上を図り学校運営体制を改善・整備する。
 - ア 教職員の資質・能力の向上を図るために研修内容の充実を図る。
 - イ 組織の連携及び会議の機能を強化し、課題に対してチームで対応する。
- (3)総合学園としての教育環境を有効に活用した学内連携教育を実施する。
 - ア 総合学園としての教育環境を活用し、高大・高短等の連携教育を実施する。

【2】18 歳の高校生に求められる学力及び態度・諸能力の基盤を養成する。

- (1)学習指導において、主体的・協働的な学びを実践する。
 - ア 基礎的知識の習得及び思考力・判断力・表現力の養成のために授業改善を行う。
 - イ 対話力や課題発見・解決力等を養うための主体的・協働的な授業を行う。
- (2)生徒指導において、集団・社会に貢献できる態度・実行力を身につける。
 - ア すべての教育活動を通して規律ある生活態度や礼儀・マナーを身につける。
 - イ 活動・行事等を通して協調性・責任感・行動力などの社会性を身につける。
- (3)部活動を通して自らの心身を鍛え社会性を獲得する。
 - ア 技能を磨き目標に向けて努力し続ける中で心身を鍛える。
 - イ 仲間と共に目標の実現に向けて活動する中で社会性を身につける。
- (4)あらゆる教育活動において、良き市民、社会形成者としての態度・能力の基盤を養う。
 - ア 民主主義社会を担う主権者としての自覚を促す教育を実施する。
 - イ 将来の社会を担う健全な市民となれるよう市民性を育む教育を実施する。
- (5)国際交流を推進し多様な文化を理解し共生できる国際的資質を育む。
 - ア 短期・長期の留学派遣及び海外から研修生・留学生の受入れを実施する。
 - イ 英語科およびあらゆる教育活動を通して国際理解教育を推進する。

【3】人としての在り方生き方を考え、他者と共により良く生きていくための人権意識を養う。

- (1) 自己及び他者を尊重し共により良く生きようとする態度を養う。
 - ア 人権学習を実施し人権問題への理解と解決に向けた態度を身につける。
 - イ 学級生活や活動を通して仲間と共に調和して生活しようとする態度を養う。
- (2) 生徒が抱えている課題に対して、そのニーズに応じたきめ細かい相談・支援を行う。
 - ア 学習・生活・心身等の課題を抱える生徒に丁寧に対応し支援を行う。
 - イ 生徒のニーズを把握し、教職員が連携して適切な特別支援教育を実施する。

【4】進路目標の実現に向けて未来を切り拓く力を養うキャリア教育を実施する。

- (1) 自分を見つめ、未来に目標を持ち、それを実現させるための能力を養う。
 - ア 自分の興味・関心を知り進路目標を考える学習を実施する。
 - イ 上級学校や職業に対する関心・意欲を高める体験的学習を実施する。
- (2) 生徒の希望・目標を実現させることができるよう進路相談・支援を行う。
 - ア 進路選択に必要な情報を提供し、目標設定や実現に向けた相談・助言を行う。
 - イ 放課後や長期休業期間を含む進路指導体制を整備し講習等を実施する。

【5】安心・安全な社会を築くための態度と行動力を養う。

- (1) 防災・減災に向けた防災教育・訓練を実施する。
 - ア 防災・減災に向けた行動が取れるよう状況に応じた訓練を実施する。
 - イ 自然災害に対する科学的理解を深め、防災意識を高める。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [2022年12月実施]	学校協議会からの意見
<ul style="list-style-type: none">・評価項目：教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行う。・評価方法：各項目について、5段階評価で行う。<ul style="list-style-type: none">5：その通りである4：どちらかといえばその通りである3：どちらともいえない2：どちらかといえば違う1：まったく違う	<p><学校評価委員会を開催>2023年1月実施</p> <p>○コロナ禍での学校生活も3年目。今年は、3年ぶりに実施された行事が多々あり、特に「文化祭・体育会などの学校行事に子どもは積極的に参加している」という項目が高評価となっています。感染対策を講じての枚方パークでの文化祭開催など、制限のある中でも工夫していただいたおかげで、子ども達が楽しむ姿を直に見ることができ、共に楽しめたことが嬉しく、親の思い出もできて良かったです。これからも、子ども達には高校生活でしか味わうことが出来ない経験を沢山して欲しいです。そして、行事における自主的な活動は、子ども達にとって協働の体験となり、社会で生きる力を育む重要な機会となるので、企画の段階から子ども達にしっかりと考えさせ、今後さらに「子ども達主体」の行事として活性化していただきたいです。</p> <p>○「子どもは学習・友人関係・活動など楽しく生活していて、学園に入学させて良かった」の項目を保護者が高評価なのは、積極的な行事参加や子どもから伝わるものを感じ取っている証で素晴らしいと思います。学習や進路指導、個人的な悩みについては、担任の先生はもちろんコースの先生方にも相談にのって</p>

ただいおり、適切なアドバイスをいただいているので大変安心です。キャリア学習は、1年生の時からしっかり行われ、3年生になって慌てることないように指導していただいています。本人の希望に合わせた情報の提供もあり、先生方には親身になって相談にのっていただいています。高校卒業後の進路は、将来の仕事につながることを子ども達に強く意識づけるために、今後もキャリア教育に力を入れていただきたいです。

○生徒アンケートでも「学校での友人関係や生徒同士の協力やつながりは良い」が高評価であるのは、充実した学校生活をしている様子で大変良い環境であると思います。また、「クラブ活動」への満足度も高いです。意欲的に参加するクラブ活動は、子ども達を大きく成長させるものだと考えます。顧問の先生方には、大変熱心に指導して頂いており、技術指導だけでなくメンタル面においても親身に対応してもらっています。今後も活発な活動を期待します。男子が参加できるクラブがもっと増えたとさらに活発になると思います。

○学校の情報は、HPやSNSなどでこまめに更新されており、活動の様子がわかってとても良いです。また、学校からの手紙は子どもが出さないことが多々あるので、もっとメールなどでの配信を増やしてもらえたらありがたいです。懇談などの出欠の提出もメールで返信可にしていただけましたら助かります。

○生徒アンケートでは、「18歳の選挙権に向けて、社会や政治について考える教育を行っている」の低評価が気になります。令和4年4月から18歳に成年年齢が引き下げられ、高校生から対象になることで、さまざまな感情や戸惑いなどが生じることが予想されます。是非とも、成年としての自覚が芽生えるように教育現場でも指導をお願いしたいです。

○生活面のルールやマナー、学校の規則の指導は、厳しく指導して頂いており子ども達の気が緩まないように継続してほしいします。

○定期考査前は、気合を入れてテスト勉強に取り組んではいるが、普段の授業のわかりやすさが低い評価となっており、授業内容を理解していない生徒が多いのではないかと気になる所です。

3 本年度の取組内容及び自己評価

【学校全体】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
-------	----------	------------	------	------

1. 建学の精神と教育理念に基づく学校経営計画及び教育計画の策定・実践	(1)理念・方針にもとづく教育計画の再構築	年度の初めに、各学年・各校務分掌で、教育理念・教育方針を踏まえた指導目標・教育活動計画を策定し、その目標の実現に努めます。	目標や計画の重要性から教員の自己評価平均 4.0 以上（前年 3.6）を目指します。	4月に指導目標・教育活動計画を策定。評価は、3.9と前年度より0.3向上、目標値に近づいています。
	(2)教職員の資質向上と学校運営体制を改善・整備	<p>①学園の特徴を前面に打ち出し、新学習指導要領に沿った取り組みを実践していきます。</p> <p>②教員の「授業力」向上のため、教務部と委員会を中心に、研修・会議・公開授業を活用し、教育課題や指導方法について話し合い有効な実践につなげます。</p> <p>③より良い教育実践のために、教員間のコミュニケーションや連携を図ります。</p> <p>④総合的な探究の授業では、地域や企業連携としたPBL（問題解決学習）の取り組みを中心として社会人基礎力を育みます。</p>	①～④の自己評価は、全て 4.0 以上（前年 ① 3.8, ② 3.6, ③・④ 3.3）を目指します。	<p>①新学習指導要領導入に沿った教育実践により評価は 4.0 と向上しています。</p> <p>②研修や会議・公開授業を活用することで、少しずつ教員の「授業力」向上への意識が高まり、3.7 と少し向上しています。</p> <p>③・④評価は、3.7 と向上しています。各教科及び学年、各部署での連携の必要性を明確化させ、探究の授業に取り組んでいます。</p>
2 高校生に求められる学力及び態度・諸能力の基盤の養成	(1)主体的・対話的で深い学び(AL 授業)の実践	<p>①基本的な知識・技能の習得のために分かりやすい授業改善に取り組み、内部での授業公開を定例化します。</p> <p>②思考力・判断力・表現力の養成のための授業改善を行います。</p> <p>③課題発見能力と課題解決能力を養うための授業を実践します。</p>	①～③の自己評価は、全て 4.0 以上（前年 ① 3.9, ② 3.8, ③ 3.5）を目指します。	生徒のための授業改革への取り組みを定例化したことで、①は 4.0、②は 4.0、③は 3.8 と前年度より向上しています。
	(2)集団・社会に貢献できる態度・実行力	<p>①基本的な生活習慣・態度・マナーを身につけるための指導をしっかりと行います。</p> <p>②クラス活動や行事活動を通して、協働や責任感などの社会性を身につける指導を行います。</p>	①・②の自己評価は、全て 4.0 以上（前年 ① 3.7, ② 3.6）を目指します。	①は 3.8、②は 3.7 と前年度より少し向上しています。しかし、コースによって指導の効果に偏りがあります。

	(3)部活動を 通して心身の 鍛錬	①短い活動時間で集中し、技術や 精神力など自らの心身を主体的 に鍛える指導を実践します。 ②協調性や行動力など社会性を 身につけるようチームワークを 重視した指導を行います。	①・②の自己評価 は、総合的に4.0以 上(前年①・②3.8) を目指します。	①・②は3.9と前年度よ り0.1向上しています。 どのクラブもチームワ ークを重視し、社会性を 身に付けながら、生徒の 育成を図っています。ま た、公式試合や大会でも 優秀な成果を残してく れています。
	(4)市民性を 育む教育	①18歳からの選挙権を見すえて、 市民性・主権者意識を育む教育を 実践します。 ②よりよい地域を目指したボラ ンティア活動等の集団的、体験的 な活動並びに地域活動への参加 を推奨し、実践的学習を推進しま す。	①・②の自己評価 は、全て4.0以上 (前年①3.1,② 2.9)を目指しま す。	①は少し向上したが 3.3と低評価です。引き 続き、生徒の意見を尊重 しながら、主権者意識を 育む教育が必要と感じ ています。 ②は3.3の評価で、実践 的学習の推進が課題と して残っています。
	(5)国際的 資質を育む 教育	海外からの研修生・留学生を受入 れ、また、本校から研修生・留学 生を派遣し、これからの社会で必 要な国際感覚を育てます。	自己評価は、4.0以 上(前年2.9)を目 指します。	評価は、国際交流の活発 な頃におぼつかないが、 今年度から少しずつ海 外研修・留学等の形を変 えて実施することで、 3.1と少し向上してい ます。
中期的目標	今年度の 重点目標	具体的な取り組み内容	評価指標	自己評価
3人としての 在り方・生き 方を考え、他 者と共により 良く生きてい くための人権 意識の育成	(1)自己・他 者が共により 良く生きよう とする態度	①学年別にテーマを決め、多様な 人権問題への適切な理解と態度 を身につける学習を実施します。 ②学級生活や活動を通して、多様 な価値観を認め合い、仲間と共に 調和して生活しようとする態度 を養います。 ③いじめアンケートを学期ごと に実施し、普段から生徒の日々の 様子をしっかりと観察することで、 個人に応じたきめ細やかな指導 を行います。	①～③の自己評価 は、全て4.0以上 (前年①・②3.7,③ 3.8)を目指しま す。	①は3.7、②は3.9と向 上しています。これから も、人権教育部・学年・ 教科が連携を図りなが ら、生徒たちの人権意識 向上に努めてまいります。 ③は4.0と向上してい ます。これからも、生徒 へのアンケートを実施 し寄り添いながら、生徒 たちが仲間と共に調和 し学校生活を送れる指

				導をおこなっていきます。
	(2)一人ひとりのニーズに応じた指導	①様々な課題を抱える生徒一人ひとりをしっかり理解し、丁寧に対応し支援を行います。 ②生徒のニーズを把握し教職員が連携し、チームとして特別支援教育を実施します。	①・②の自己評価は、全て 4.0 以上（前年 ① 3.8, ② 3.6）を目指します。	①は 4.1、②は 3.7 と向上しています。これからも、課題を抱える生徒への対応は、教職員が組織的に連携し、個々のニーズを把握しながら、親切・丁寧に対応するよう努めてまいります。
4 進路目標の実現に向けて、未来を切り拓くキャリア教育・進路指導	(1)未来の目標を実現する能力	①生徒が自分の興味・関心を知り進路目標を考える進路指導を行います。 ②職業に対する関心・意欲を高める体験的学習を実施し、キャリア教育を推進します。	①・②の自己評価は、全て 4.0 以上（① 3.8, ② 3.9）を目指します。	①は 4.1、②は 4.1 と向上しています。進路指導では、各コースによって進路目標を明確にして進路指導をおこなってきています。 体験的学習では、生徒の進路選択に繋がる内容を取り入れています。
	(2)生徒の目標を実現させる進路相談・支援	①進学や就職にかかわる進路情報を提供し、丁寧で個性に応じた相談や助言を行います。 ②生徒のニーズに対応した放課後・休業中の講習を実施します。	①・②の自己評価は、全て 4.0 以上（① 3.9, ② 3.5）を目指します。	①は 4.1、②は 3.7 と向上しています。進路に関する情報は、係から学年、担任へと提供しています。そして、担任が中心となって、生徒・保護者に個別で対応しています。講習は、生徒のニーズに沿って実施してきています。
5 安心・安全な社会を築くための態度と行動力の養成	防災・減災に向けた防災教育・訓練を実施	①マニュアルに沿った避難訓練、大阪 880 万人訓練等地震・津波・火災等、防災・減災に向けた防災訓練を実施します。 ②自然災害に対する科学的理解を深め、防災意識を高める学習を実施します。	①・②の自己評価は、全て 4.0 以上（① 3.9, ② 3.5）を目指します。	①は 3.9、②は 3.6 と前年度とほぼ同様です。防災教育では、ICT の活用や避難訓練を実施することで、生徒の防災意識を高めることに努めています。